



松之山分校だより(6月号)

令和5年度第3号 令和5年6月30日発行
十日町高等学校松之山分校 校長 武藤 俊昭

松之山分校ホームページ

(<http://www.tookamachimatsu-h.nein.ed.jp/>)

体育祭

○ 6月2日(金)に、体育祭を開催しました。当日はあいにくの雨天だったため、体育館で実施となり、生徒・教職員が赤・青2チームに分かれ、4種類の競技とレクリエーションを行いました。屋内での実施でしたが、競技はよく工夫されており、楽しみながら競い合っていました。

生徒たちが練習を積み重ねてきた軍パフォーマンスも、息の合った演技を見せ、応援に来た保護者の皆様から大きな拍手を受けていました。また、卒業生が応援・サポートに駆けつけ、会を盛り上げてくれました。異学年が一緒に行う形式の体育祭としては、今年が最後となりますが、今年度の生徒会スローガン「彩華之絆」のとおり、一人一人が力を発揮し、全校が一体となって仲を深め、松之山分校の思い出をつくることができました。



卒業生講話①

○ 6月7日(水)に、卒業生による講話①を行いました。今年度は、卒業後3年目になる卒業生7名が講師を務め、大学や短期大学での生活、就職先での経験などを話してくれました。

また、生徒からは、高校時代の思い出や力を入れたこと、現在の生活などについて数多くの質問があり、講師がユーモアを交えながら丁寧に回答してくれました。7名の多彩な講師から様々な話を直接聞くことを通して、生徒は自身の進路選びやキャリア意識を高めることができました。ご多用のところ、講師を務めてくれた卒業生の皆さん、ありがとうございました。



卒業生講話②

- 6月14日(水)に、キャリア教育推進の一環として、卒業生による講話②を行いました。松之山出身で、県外の大学に進学後、現在は山梨県で作業療法士として活躍しながら、複数ある地域の課題解決のため、起業し活躍している福原千晶さんを講師としてお迎えし、演題を「20代がみる地域課題」として、講話とワークショップを行いました。講師から、「人生は有限」、「やってみたいことを大事に」、「地域課題を考えることは、地域の強み(チャームポイント)を見つけること」など、楽しく、分かりやすくお話を伺うことができました。

講話を通して、生徒の進路選択の意識を高めるとともに、地域課題解決や起業意識(アントレプレナーシップ)の醸成など、自身のキャリアを幅広く考えるよい契機となりました。

松之山分校出身の先輩たちの頑張っている姿を、生徒たちの進路希望の実現に生かしてほしいと思います。



地元企業見学

- 6月23日(金)、松之山地区の企業様、松之山支所様、松之山商工会様、松之山自治振興会様、松高支援連絡協議会様のご協力で松之山地域の企業見学会を実施しました。ご多用の中、生徒を受け入れていただきました、高橋組様、松里建設様、福住館様、J A十日町松之山農機車両センター様、ゆきぐに森林組合様、大海組様、ひなの宿ちとせ様、玉城屋旅館様、飯塚建設様に深く感謝申し上げます。見学・説明を通して、地元企業の理解を深め、職業観や勤労観を育むとともに、地域貢献の意識を高めることができました。ご協力ありがとうございました。



今後の行事予定

7月	4日(火)	薬物乱用防止教育
7月	5日(水)	租税教室
7月	12日(水)	生徒プログラム
7月	19日(水)	球技大会
7月	20日(木)	終業式、学年PTA
7月	21日(金)～	夏季休業 (8月28日まで)



松之山分校の最新の活動状況はホームページにて配信しています。松之山分校で検索してください。

松高生の活躍を地域に発信!

担当教頭 山本 寛

電話 025(596)2025 FAX 025(596)2264